

平成29年度 まちづくり懇談会（タウンミーティング）議事録

会議名	かわべえいきいき体操サポーターとのまちづくり懇談会 (給食ミーティング形式による)
開催日時	平成30年1月15日(月) 午前11時30分～午後1時15分
開催場所	川島町役場 中会議室
公開・非公開の別	公開 ・ 非公開 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一部公開</span>
非公開の理由 (非公開の場合のみ)	個人を特定する情報については非公開とする ※「まちづくり懇談会実施要領」 10 懇談内容の公表 町民に対して積極的な情報提供を行う観点から、懇談会における懇談内容は、団体名や個人名を特定しない形式で、町広報紙や町ホームページで公開する。
議題	(1) かわべえいきいき体操に大勢参加してもらい、地域の通いの場にしてもらうために必要なこと、サポーターが実践したいこと。 (2) 高齢者が地域で元気に過ごすために必要なこと、サポーターが実践したいこと。
出席者	町：町長、健康福祉課（藤間課長、加部保健師）、秘書室（柴生田） ※開始前：給食センター（浜中所長、木島栄養教諭） 団体：かわべえいきいき体操サポーター各会場代表12名
配布資料	次第、タウンミーティング時給食資料、給食試食会資料、1月学校給食献立予定表、給食だより
<p><b>審議等の内容又は概要</b></p> <p>1 開会</p> <p>2 給食説明</p> <p>3 タウンミーティング</p> <p>4 閉会</p>	
<p><b>質疑応答・意見提案</b> ※フリートーク形式で実施</p> <p>町長：かわべえいきいき体操サポーター（以下「サポーター」）の皆さんには、高齢者の健康のため、ご尽力をいただき大変感謝している。皆さんの努力の甲斐もあり、町の健康長寿の取組みに対し、昨年度、今年度の2年連続で県から表彰を受けている。少子高齢化は喫緊の課題であり、体操などは今後も積極的に広めていきたいと考えている。</p> <p>団体：サポーターが不足していることを訴えたところ、増やしてくれたことに感謝している。自分の地区でははじめ、地元サポーターは自分一人しかおらず非常に大変だったが、今は増えて活動が楽になった。現在自分の地区では、参加者が少ないのが悩み。区長に頼んで回覧を回してもらい、何とか4人となったが、今後これ以上は増えないのではないかと心配している。以前は敬老会から参加</p>	

してくれていたが、最初に参加した人が頑張りすぎてしまって痛みなどが出てしまったよう。それが敬老会に広まり、「かわべえいきいき体操に行くと痛みが出る」といった誤った評価が流れてしまった。

町長：以前、ハッピー体操を体験したことがあったが、私にはややきつかった。かわべえいきいき体操はそうではないだろうが、人によってはきついと感じる人もいるかもしれない。元気な人、虚弱な人がいる中で、どの辺を基準にして実施しているのか。

団体：正直最初は手探りだった。重りの増減で調節ができることから、始めのうちは3か月に1本重りを増やしていたが、参加者本人に余り確認をとっていなかったもので、もしかしたら負担だった参加者もいたかもしれない。また、参加者同士の競争心もあり、自分の力以上に頑張りすぎてしまった人もいたかもしれない。

団体：私の地区では、つい先週、6か月後の体力測定が終了したところで、改善している結果が表れた。現在参加者は18名で、毎回13～14人は出席している状況。始まって間もないからか、とても楽しみなようで、みんなとても頑張っている。

町長：サポーターが参加者の頑張りを少しセーブする必要があるか。

団体：でも参加者は「体が軽くなるのが分かる」などと言っており、とても一生懸命な様子。私の地区は、数地区が合体して一つの会場で実施しているが、その起源となったのは、ある地区が実施していた「お楽しみ会」という女子会。そこから派生して、一人、また一人と増えていき、大人数となった。今心配しているのは、農家の方が多いので、農繁期に入ると休むことが多くなり、そのまま来なくなってしまうのではないかということ。また、今は寒い時期なので、かわべえいきいき体操に参加すること自体が病気の引き金となってしまうかということ。

団体：私の地区は10人くらい参加している。手間がかからず、丈夫な人が多い印象。みんな参加をとても楽しみにしている。特におしゃべりするのが楽しいよう。月1回、お弁当を食べる日があり、それも楽しみなよう。参加人数はもう少し増えてほしいと思うが、なかなか思うようにいかない。民生委員が実施するいきいきサロンで周知をしたり、地区の回覧などを行っているが、なかなか参加につながらない。サポーター数が充実してきているだけに、少し残念。

団体：私の地区も開始してまだ3回と、始めて間もない。参加者も4人と少ない。そもそも地域の戸数が余りないので、一生懸命声をかけても参加者が増えない。また声かけも余りしつこくできないと感じる。地域の民生委員と相談し、いきいきサロンを開いてもらい、その場を借りてPRなど行おうと考えている。

団体：元々の戸数が少なければ参加者数を増やすことは確かに難しい。参加者数を増やすに当たっては、町が区長に声をかけて、どの地区でも参加できるよう、希望制としたほうが良いと思う。

町長：確かにおっしゃるとおりかもしれない。しかし、川島町は旧村体の地区意識が比較的強く、なかなか他地区の集会所に参加するというのはハードルが高いの

ではないだろうか。

団体：今、私の地区には他地区からの参加者がいる。その参加者は、自分の地区でも参加しているが、週1回では足りず、週2回は実施したいということから、実施曜日の異なる私の地区へ参加している状況。しかし、他地区の住民が参加することについて「どうして他所の人がうちの集会所を使うのか」といった不満も少なからずある。

町長：なるほど。ハッピー体操はどうしているのか。

団体：ハッピー体操は公民館単位で実施しており、どの公民館へ参加しても良いということになっているので、特に他地区の参加は問題ない。しかし、かわべえいきいき体操は集会所単位で行っている。実施していない地区の住民から「参加したい」という声もあり、私たちサポーターもその地区にかわべえいきいき体操を立ち上げたいと願っているが、ある地域では区長の理解を得られず、集会所の利用を許可してもらえないため、立ち上げられずにいる地区もある。区長の中には、かわべえいきいき体操を立ち上げることが区長の仕事を増やすこととなると誤解をしている人もいるようだ。

町長：他地区の人ばかりが自分の地区の集会所を使うなら文句もあると思うが、メインで使うのが自分の地区の人なのに不満を抱かれるものなのか。

団体：一部には不満を感じる人もいる。

町長：だとしたら、どうすれば参加者が増えるのか。

団体：どの地区に参加しても良いという、町の音頭取りがほしい。

団体：私の地区にも他地区から参加している人がいた。人数が増えてしまったので、今は私の地区には参加していないが、以前参加していたとき、そのことを区長に事前に断っておいたところ、区長は快諾してくれた。地区を横断的に参加することについては、事前に区長に説明をしておけば良いのではないか。

団体：私の地区は、他地区からの参加もウェルカムだし、そのことを区長も快諾してくれている。かわべえいきいき体操を実施できるのは、民生委員の協力も大きい。

団体：参加者数を増やすのに当たり、ヘルパーなどから勧めてもらった。皆さんもそのような対応をしてはいかがか。

団体：私の地区では、かわべえいきいき体操に参加しやすいよう、集会所にスロープまで造ってもらった。血圧計も購入してくれた。

団体：町職員にチラシを作ってもらって、それを持ってPRに回った。

団体：私の地区は、町職員にチラシを作ってもらい、それを区長に頼んで回覧してもらった。そのチラシを機に参加者が増えた。

団体：私の地区にも他地区の参加者がいるが、区長は快諾してくれた。また地域にも理解してもらいたいと、地域の美化運動の際に町職員に来てもらい、説明会を実施してもらった。特にビデオ視聴が効果あったようで、実施にはみんな賛成してくれたし、参加希望者もとても多かった。年末は食事会などをして盛り上がった。

団体：私の地区は、立上げ当初はとても大人数だったが、その後落ち着き、現在は7

～8人程度。先ほど話に挙がったビデオは、私の地区でも最初に視聴させてほしかったと思う。立上げ時に参加した人のうち数名は、最初に無理してしまったようで、その後来なくなってしまった。今でも度々訪問して、参加を促しているが、運動の効果を見せてもらえれば、参加者の継続につながれたのではないかと思う。

団体：私の地区は、カラオケやグラウンドゴルフなど、他の楽しみがあつて参加につながらないところもあるかもしれない。しかし、カラオケやゴルフに飽きた後に、かわべえいきいき体操に参加するようになるかもしれないので、焦らず継続していこうと思う。

町長：ところで、参加者の男女比はどのようか。

団体：私の地区は、男性は1人。夫婦で参加している方。後はすべて女性。

全員：女性が多い。

団体：参加者数の増加については、「参加しやすい曜日」というのもあるかと思う。高齢者も平日は割と忙しく、通院の日などもあり、もしかしたら土日のほうが参加しやすいのではないかと思う。

町長：どの地区に参加しても良いのなら、曜日を含めてPRしても良いのではないか。

団体：ところで、現在「かわべえ健幸マイレージ」を実施しているが、カードの有効期限は1年と聞いている。かわべえいきいき体操に参加している人の中には、一生懸命参加してもプレゼントをもらえるポイント数に達しない人もいる。1年経ったらポイントは失効してしまうのか。

課長：そもそもは健康へのモチベーションを上げてもらうことが目的。例えばポイントの繰越や、それ以外の方法など、何らかしき志気の上がるような対応を考えたい。

団体：以前、私より若い参加者がいたが、私より年配に見えた。その人がかわべえいきいき体操に通い続けていたら、今はとても若返り、参加時や外出時にはきれいにお化粧をし、オシャレな服装をして出かけるようになった。そういった人をPRできないか。

団体：そういった事例や参加者のエピソードを広報の片隅でもいいから載せてもらえないか。そういう記事を見て、参加者が増えるのではないかと期待する。

団体：先日実施した「介護予防じまん大会」はとても良かった。参加者にはモチベーションも上がり、継続への効果があつたのではないかと思う。是非来年度も実施してほしい。

課長：来年度も実施する予定。

団体：舞台上で発表するというのがうれしかったよう。私の地区は、予定より大人数が舞台に出ることとなった。

団体：体操の効果は確かにあると思う。開始時は椅子などにつかまって立ち上がっていた人も、開始3か月後にはつかまらずに立ち上がれるようになった。

町長：区長には全体的に、事業について説明し、改めてお願いをする必要があると思う。また効果や参加者のエピソードなど、広報などで周知をしていくこととしたい。

